

農家の仕事触れて小学生が畠訪れる

日本農業新聞掲載日：令和7年11月7日（金）

多摩市の農家、柚木実さん（74）は10月下旬、市立大松台小学校3年生2クラス58人の畠見学を受け入れた。

「地域の仕事に触れる」をテーマに毎年行う社会科の授業。児童らは市立学校給食センター南野調理所と、多摩ニュータウン市場を見学し、柚木実さんの畠を訪れた。

栽培するサツマイモや青パパイヤなど約10種類ほどの農作物を見学。ササゲはさやから出して観察した。

柚木さんは農作業の工夫や、台風など自然災害で栽培した農作物が出荷できなくなることがあるなど苦労を話した。柚木さんは「地域の小学生と話す貴重な機会。毎年熱心に話を聞いてくれて、質問が尽きない。農業に関心をもって畠に来てくれるのがうれしい。」と笑顔で話した。



畠の野菜について説明をする柚木さん（写真中央）（東京都多摩市で）